

左岸地山取付道路中心線座標

測点	X座標	Y座標
No.0-10.00	482.098	520.754
No.0-15.00	477.122	520.272
No.0-21.82	470.334	519.615

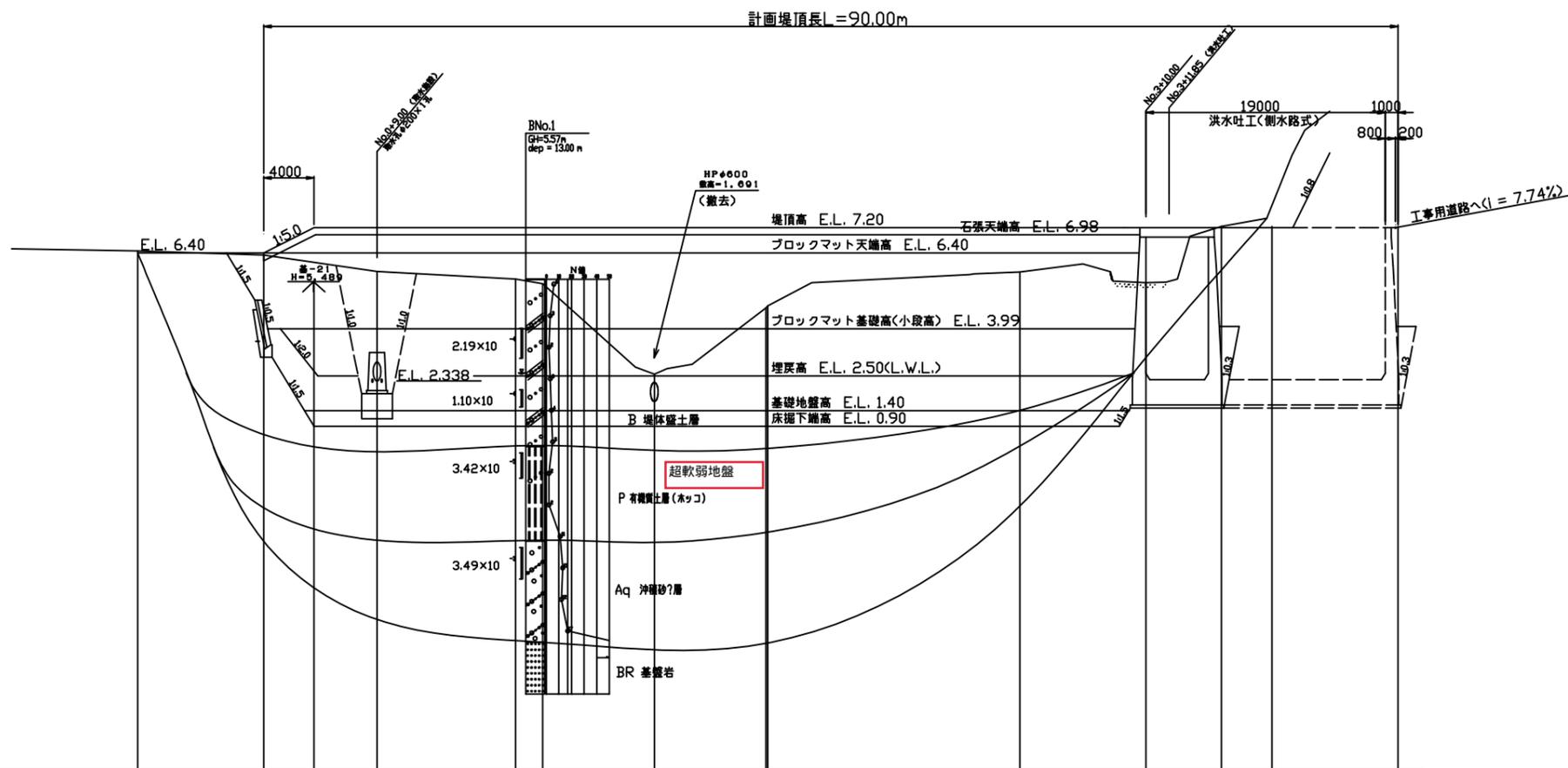
堤体中心線座標

測点	X座標	Y座標
No.0	492.051	521.718
I.P.1	496.445	552.453
No.3+11.85	491.907	593.098
No.3+16.00	491.446	597.222

備考

1. 既設取水施設及び仮配水管（HPφ600）は完全に撤去すること
2. 橋梁の始点部は（No.3近傍）は現場打水路工で補修して、既設橋梁に滑らかに摺付とする。

図面の名称	図面番号
平面図 S=1:250	1
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

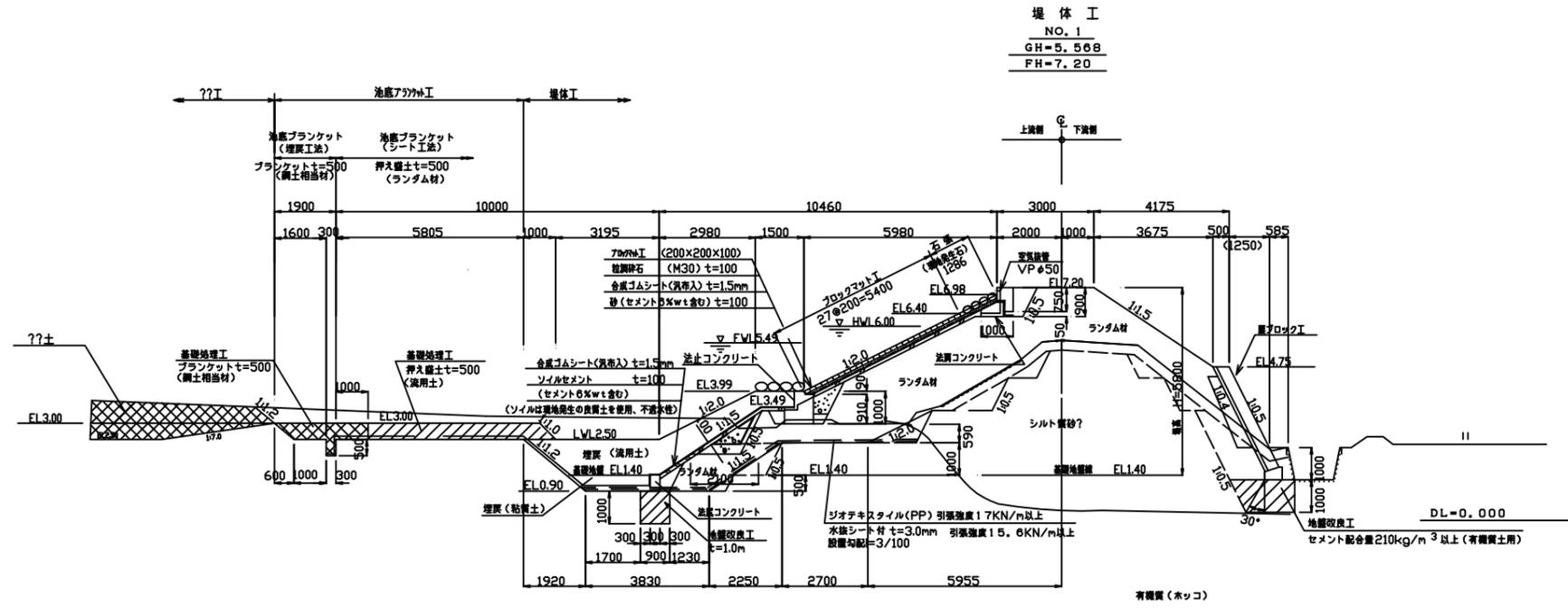


勾配	Level (6.40) Level (6.40) Level (7.20) Level (7.20) Level (7.20)												
盛土			0.070	1.392	1.632	1.774	4.643	2.481	1.405	1.745			
切土	0.066									0.042			
計画高	6.40	6.40	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20	7.20		
地盤高	6.400	6.380	5.806	5.566	5.450	2.557	4.916	5.436	7.242	7.200	7.200		
追加距離	0.000	0.000	4.000	9.000	20.000	22.138	31.000	39.892	40.000	76.000	80.000		
単距離	10.000	10.000	4.000	5.000	11.000	2.138	8.862	8.892	0.138	6.000	4.000		
測点	-10.000	NO.0	+4.000	+9.000	NO.1	NO.1	+11.000	NO.2	NO.3	+10.000	+16.000	NO.4	+10.000
曲線	IP.1 1A=14°30'20"R=70.000 CL=17.7247L=8.910 SL=0.555												

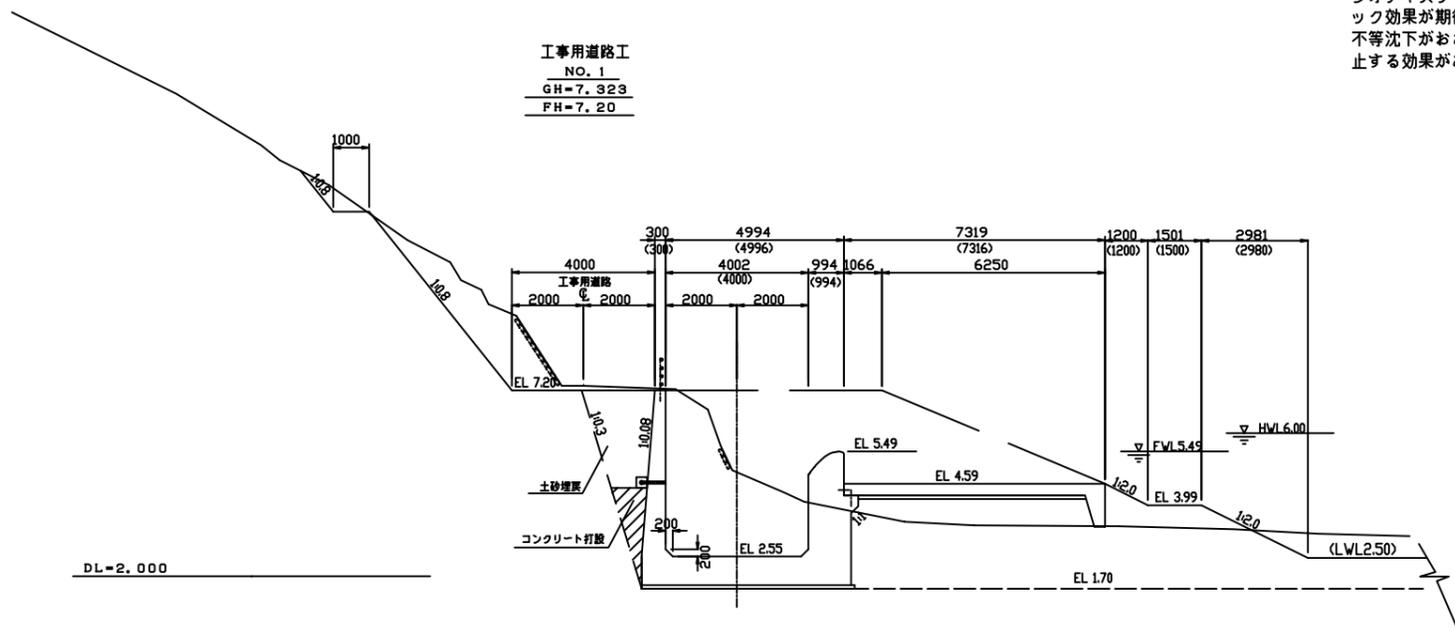
図面の名称	図面番号
縦断面図 v=1:100 H=1:250	2
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原 図復写	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

# 標準断面図 (1/2)

S=1:100



工事用道路工  
NO. 1  
GH=7.323  
FH=7.20



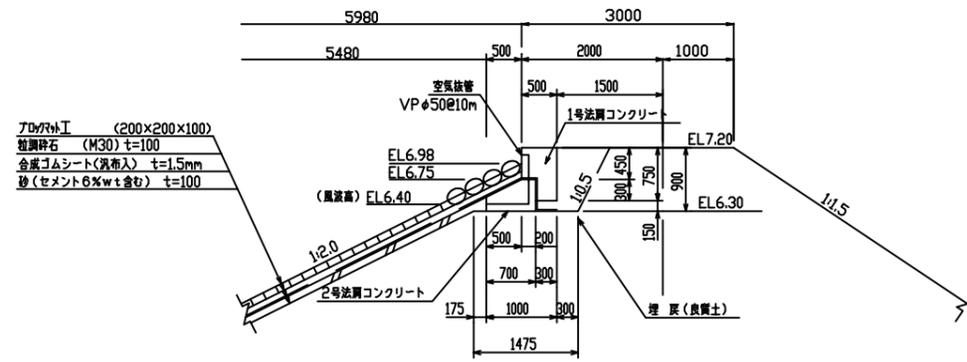
- 備考
- 仮設道路工について  
池底ブランケット工の区間(L=5805)に池内仮設道路(ランダム材)?質系)が設置される。  
この区間のみジオテキスタイル用の不織布(水抜シート)を緩衝材としてゴムシート上面に移設・直付し工事用車?によるゴムシート内損傷を防止する。
  - ジオテキスタイルについて  
ジオテキスタイルと不織布(水抜シート)をベアで使用することによりハンモック効果が期待できる。  
不等沈下がおさえられトラフィカビリティの確保と地盤の局所的な破壊を防止する効果がある。

備考：( )内は洪水吐口に直角の寸法を示す。

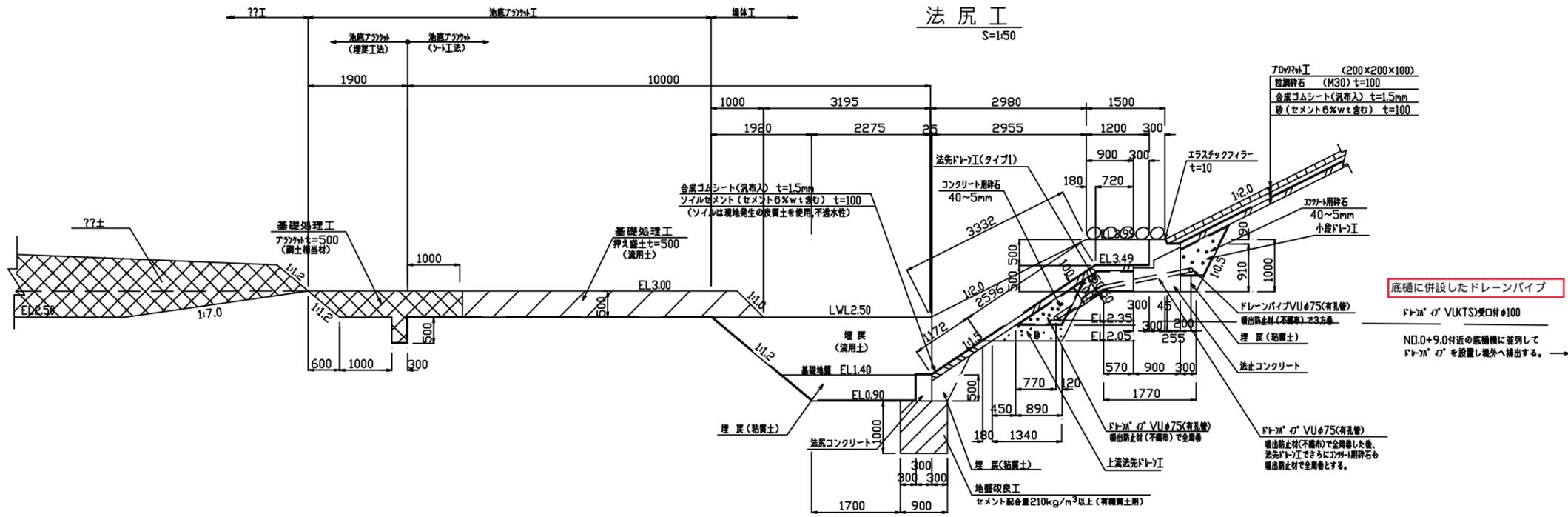
図面の名称	図面番号
標準断面図(1/2)	3
縮尺	1:100
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	
原図	
図写	

# 標準断面図 (2/2)

## 法肩工 S=1:50



## 法尻工 S=1:50



備考: 1・法尻コンクリート下層は不透水性層(若輩が望ましい)まで埋入れをする。  
 現場条件によって必要があれば埋戻土又は地盤改良を行なうものとする。  
 2・小径下層の埋戻土は現地発生土(改良のれき質土)を流用する。

Y1地材(砂)・・・海砂1.0m<sup>3</sup>に対しw187.5kg(6%)透水性  
 Y1地材(発生改良土)・土砂埋土1.0m<sup>3</sup>に対しw108.0kg(6%)不透水性

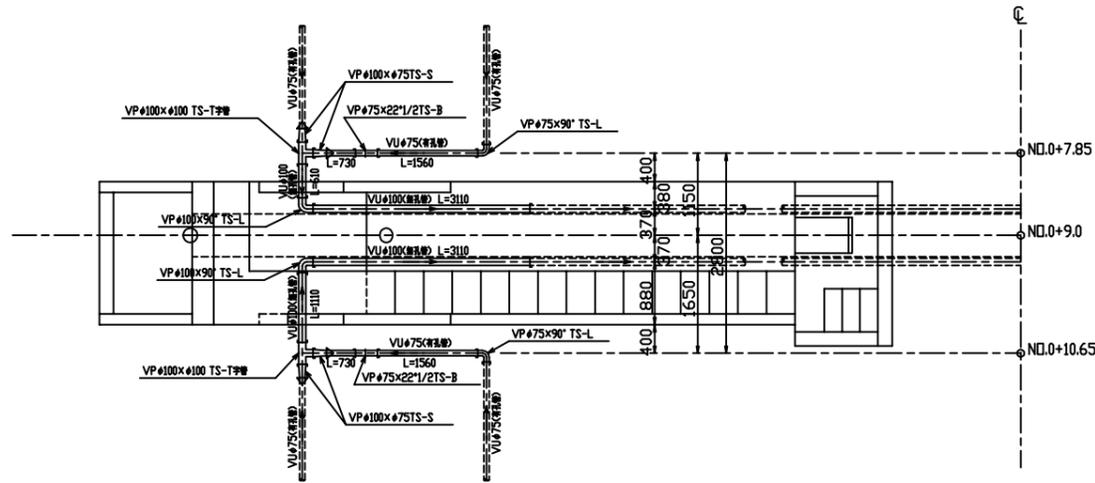
図面の名称		図面番号
標準断面図(2/2)		4
縮尺		1:50
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図		
図検		

# ドレーン工構造図

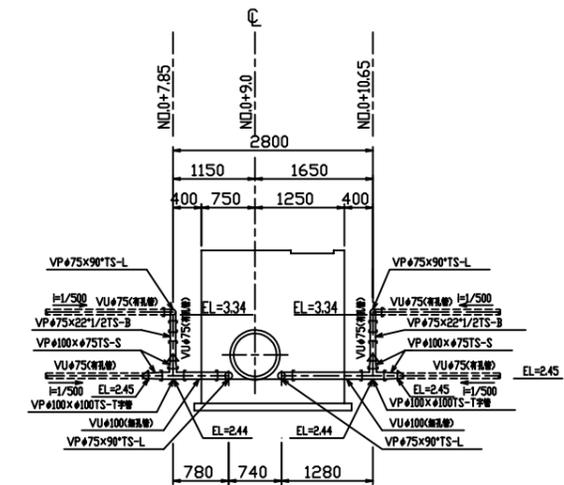
S=1:50

## 法先ドレーン工

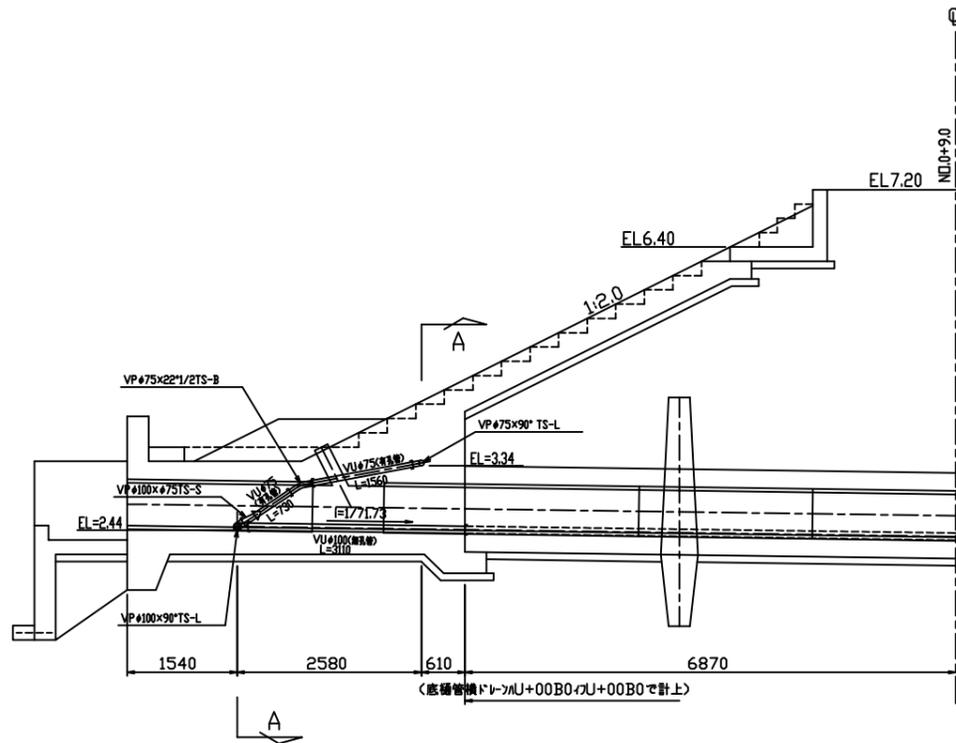
(ドレーンパイプ管割図)  
タイプ1



## A-A矢視図



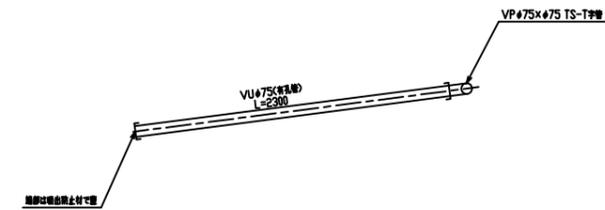
## (ドレーンパイプ詳細図) タイプ1



DL=0.000

## (ドレーンパイプ詳細図) タイプ2

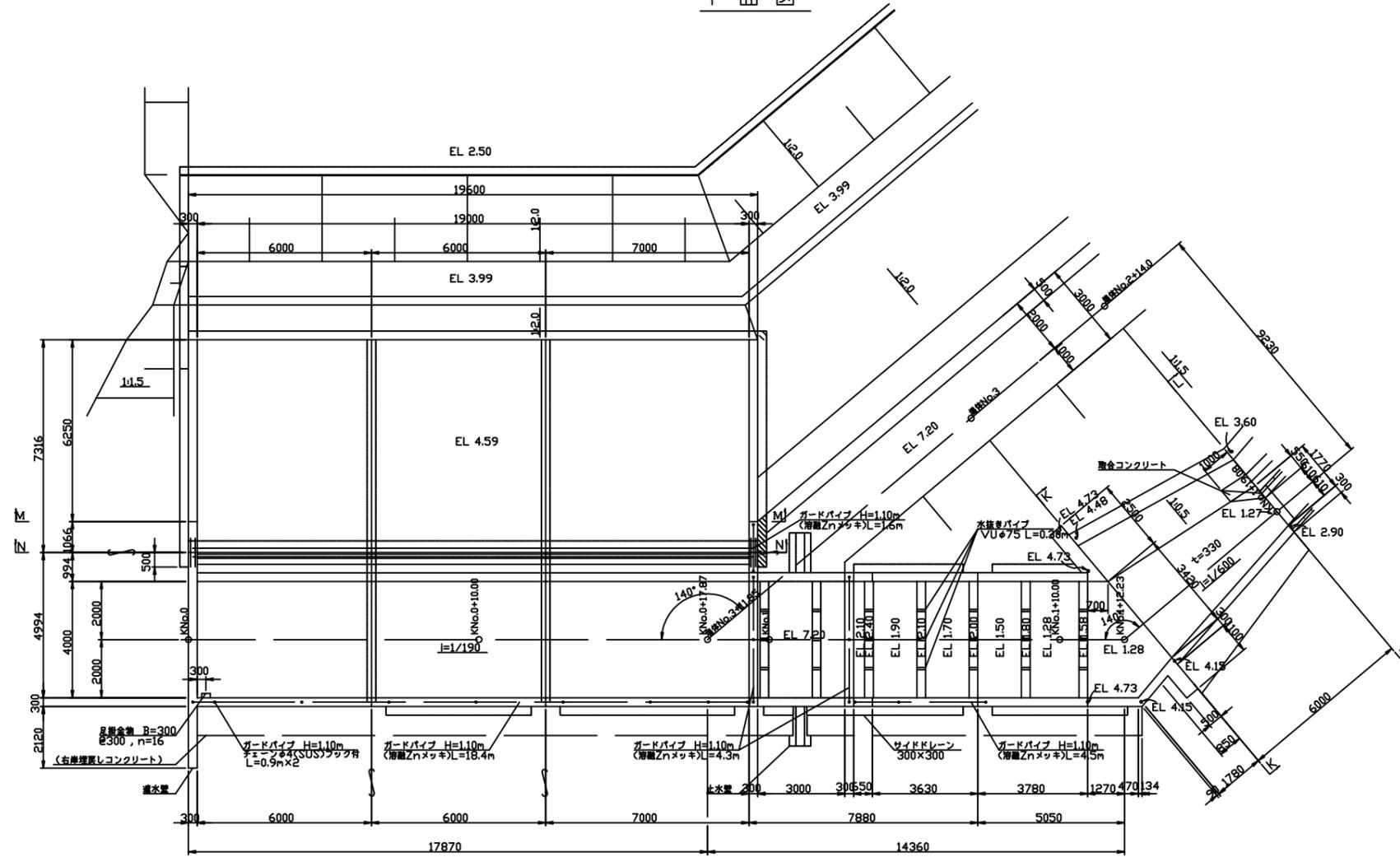
S=1:25



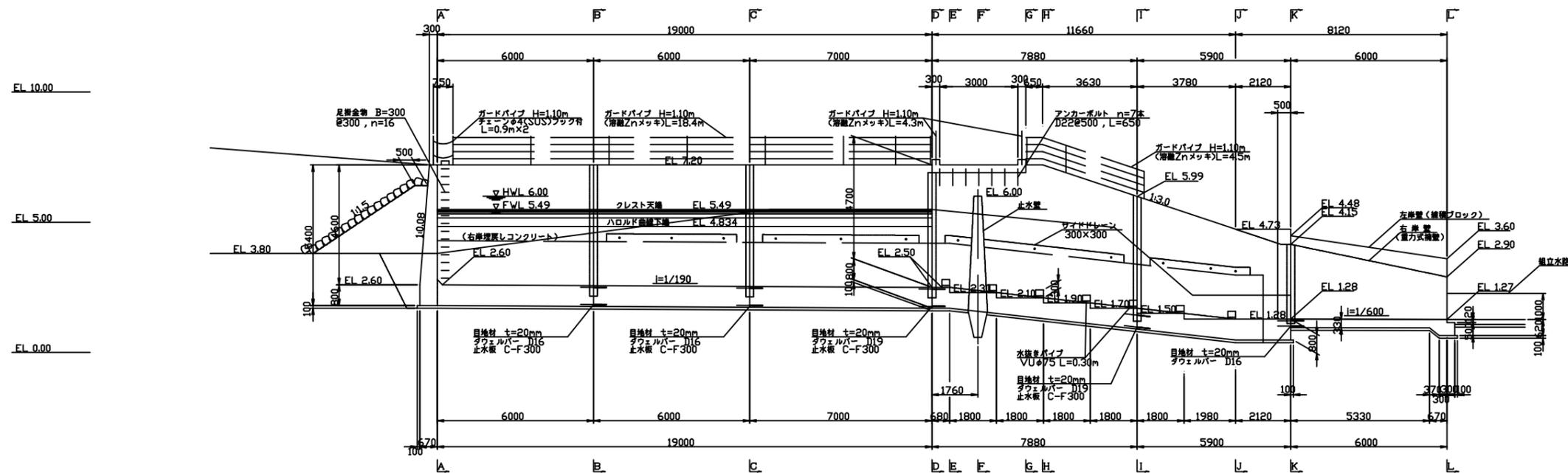
図面の名称 図面番号	
ドレーン工構造図 S=1:50	21
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

# 洪水吐工構造図(1/5) S=1:100

## 平面図



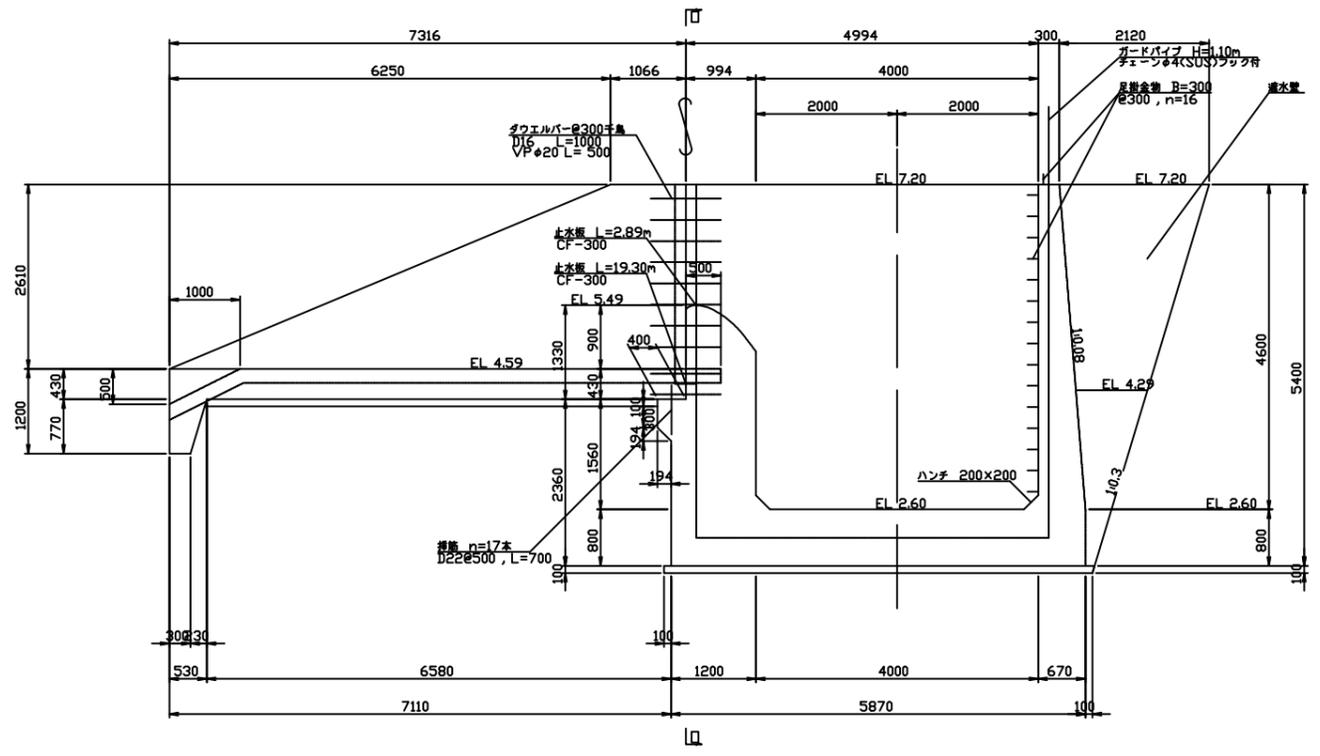
## 縦断面図



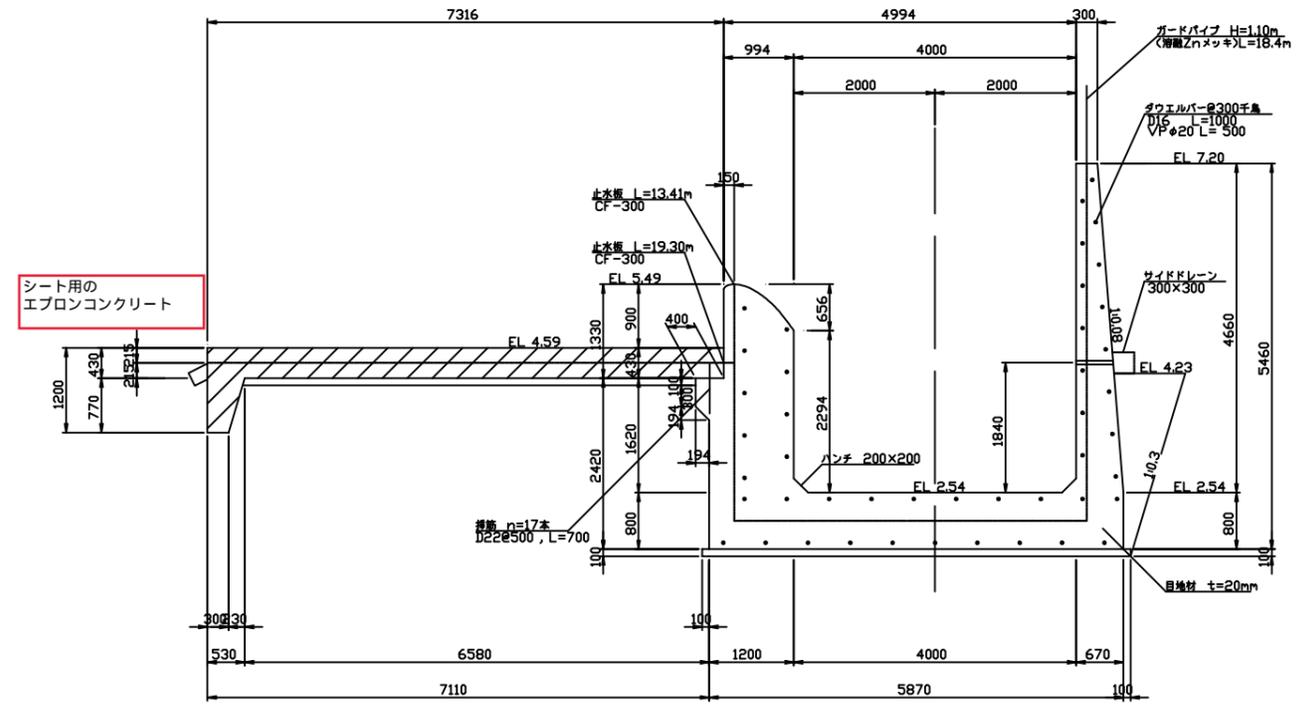
図面の名称		図面番号
洪水吐工構造図(1/5)		22
縮尺 S=1:100		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製原図		
図複写		

洪水吐工構造図(2/5) S=1:50

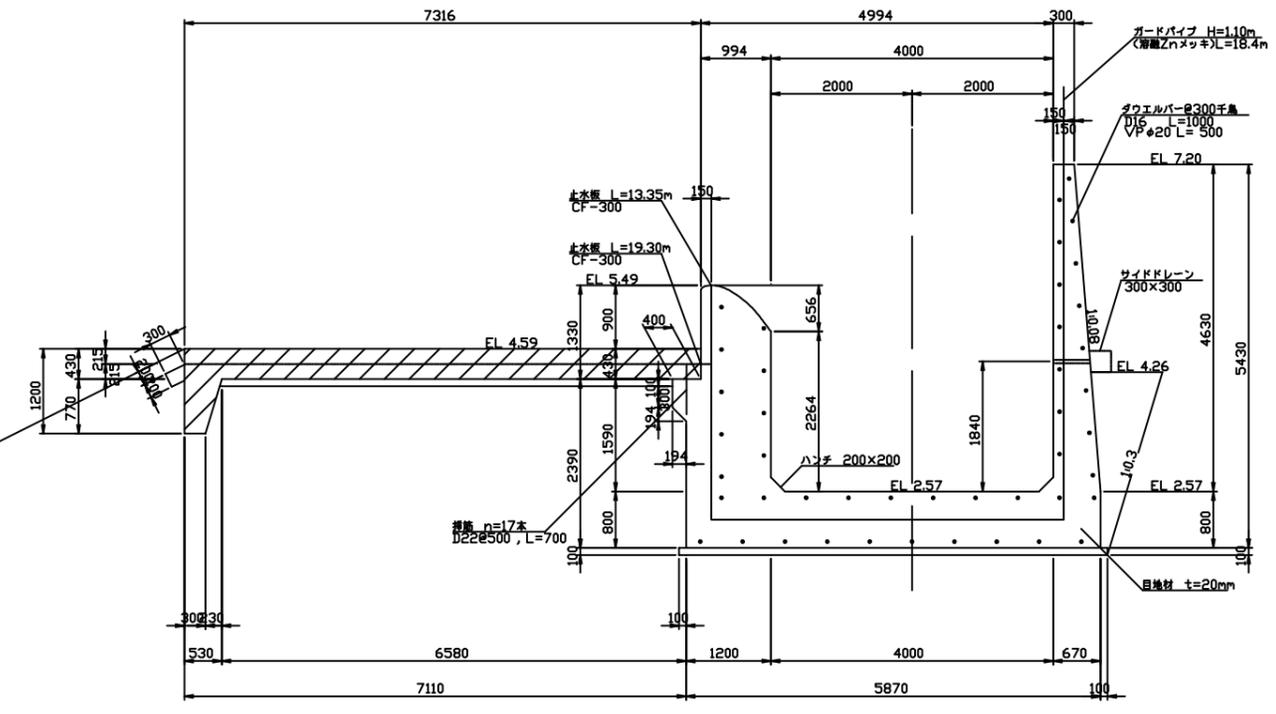
A-A(+)



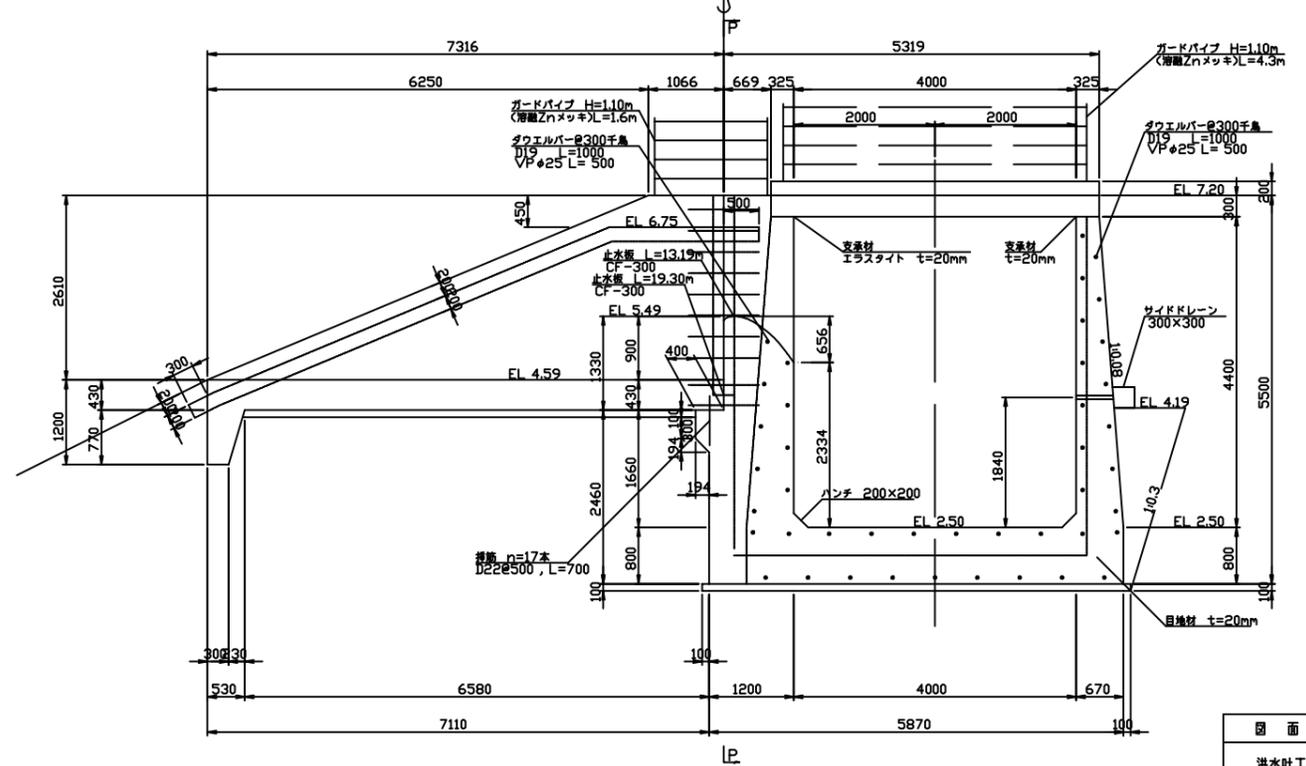
C-C



B-B



D-D



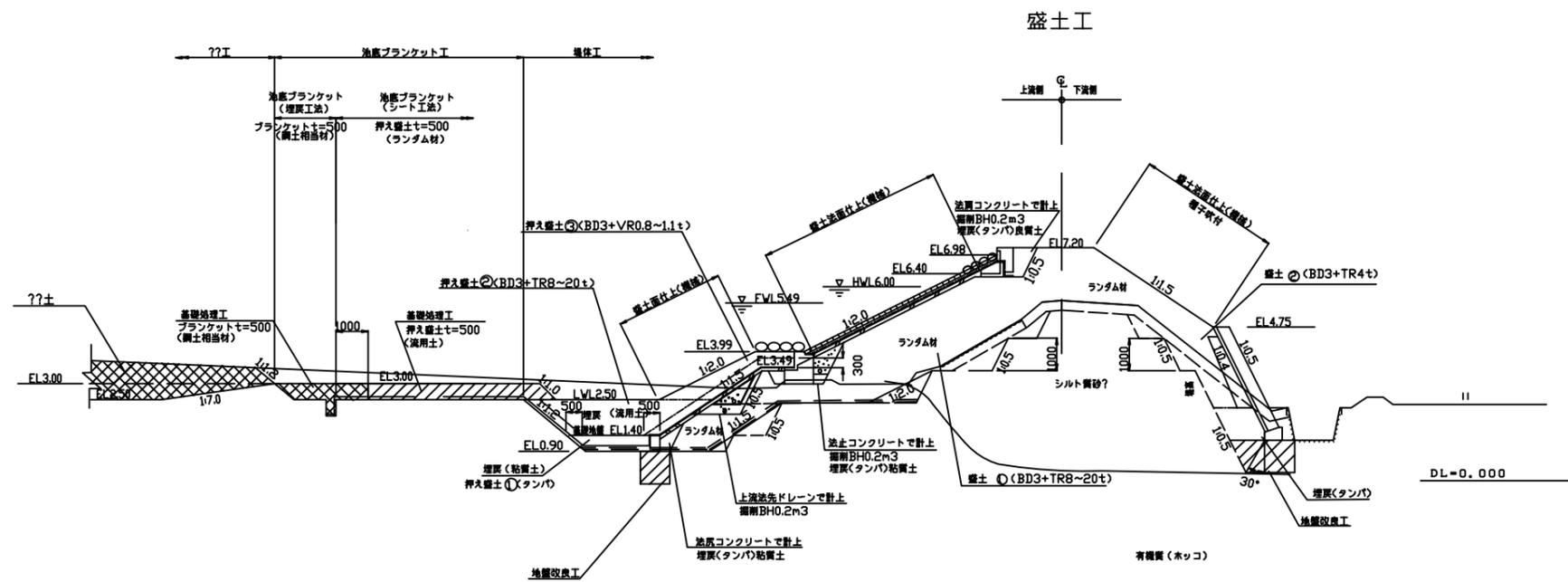
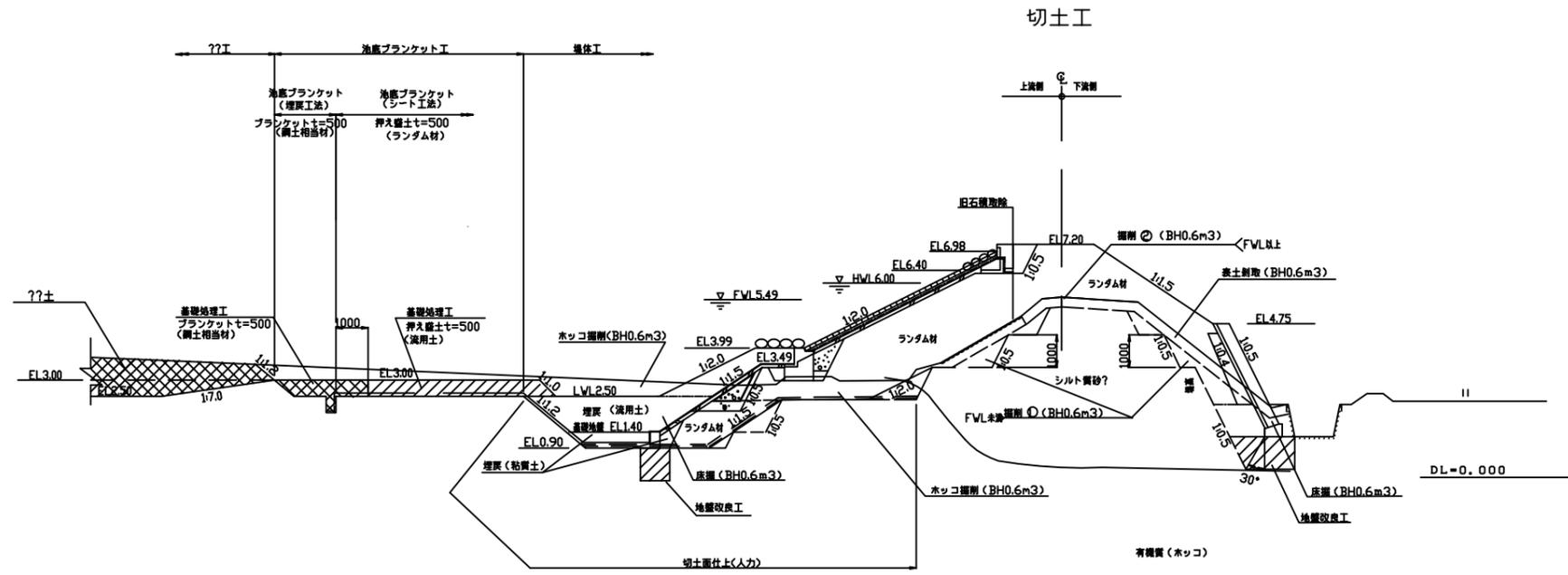
図面の名称		図面番号
洪水吐工構造図(2/5)		23
縮尺 S=1:50		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製原図		
図複写		

備考: 止水板接続部は特に注意して施工のこと。



# 堤体土工区分図

S=1:100

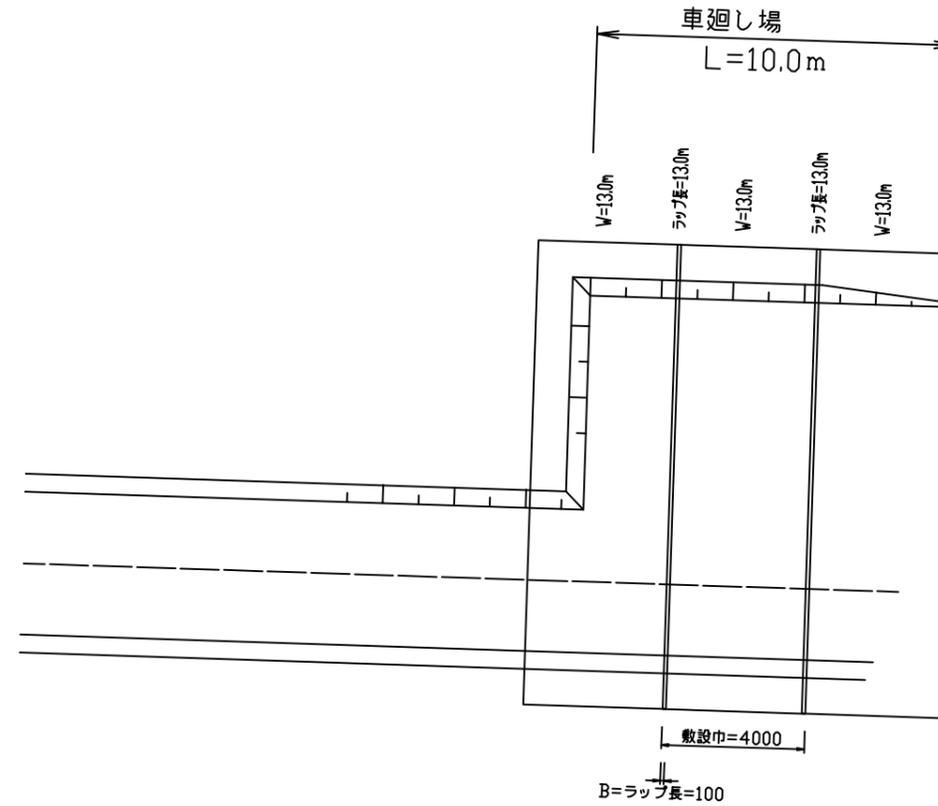


図面の名称 図面番号	
堤体土工区分図	5
S=1:100	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	
原図	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

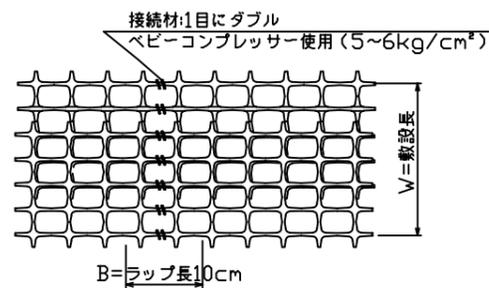
車廻し部  
ジオグリッド及び不織布 平面敷設図

縮尺 1:100

ハイブリッド工法  
不等沈下を防止,等沈下にするジオグリッドを採用。



ジオグリッド接続詳細



ジオグリッド製品基準強度17kN/m品

39.0 m (敷設長) × 4.0 m (敷設巾) = 156.0 m (敷設数量)  
656.0 m<sup>2</sup> (敷設数量) × 1.03(LDSS) = 160.7 m (LDSS数量)

ジオグリッド接続材個数

26.0 m (ラップ長TOTAL) × 79 (8/m LDSS10%倍) = 2054 巻

※ラップ巾は全て10cm以上とする。 合計 2054 巻

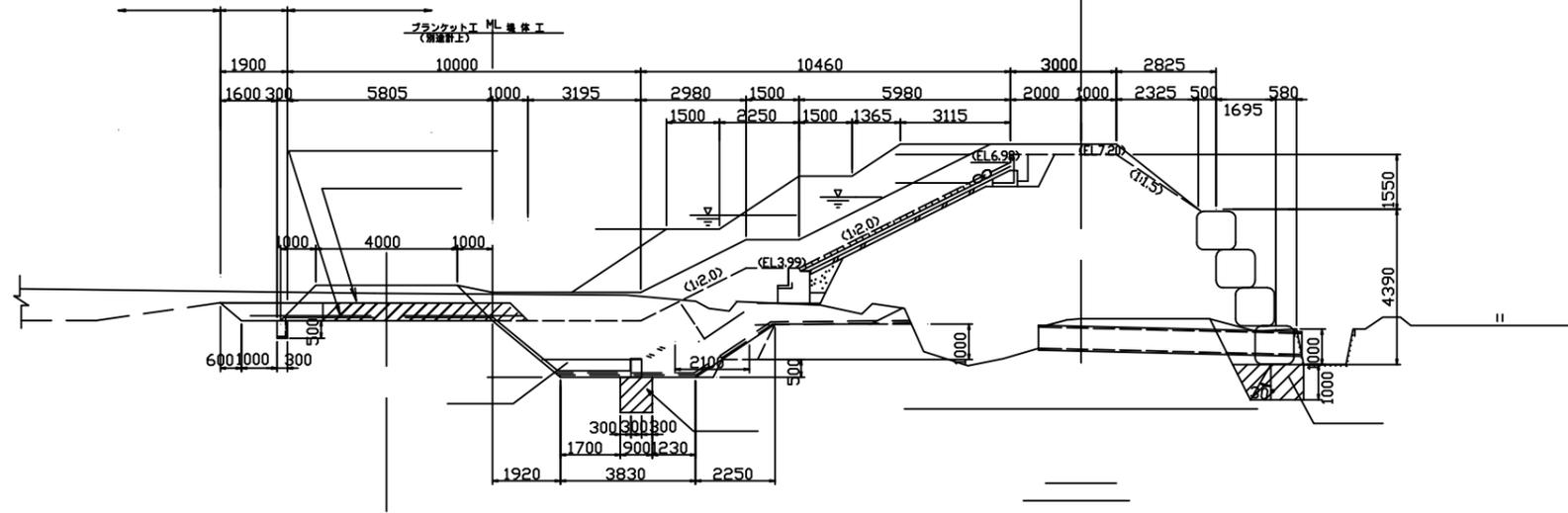
P.P製不織布t=3mm品

ジオグリッドと同面積 = 156.0 m (敷設数量)  
156.0 m (敷設数量) × 1.05(LDSS) = 163.8 m (LDSS数量)

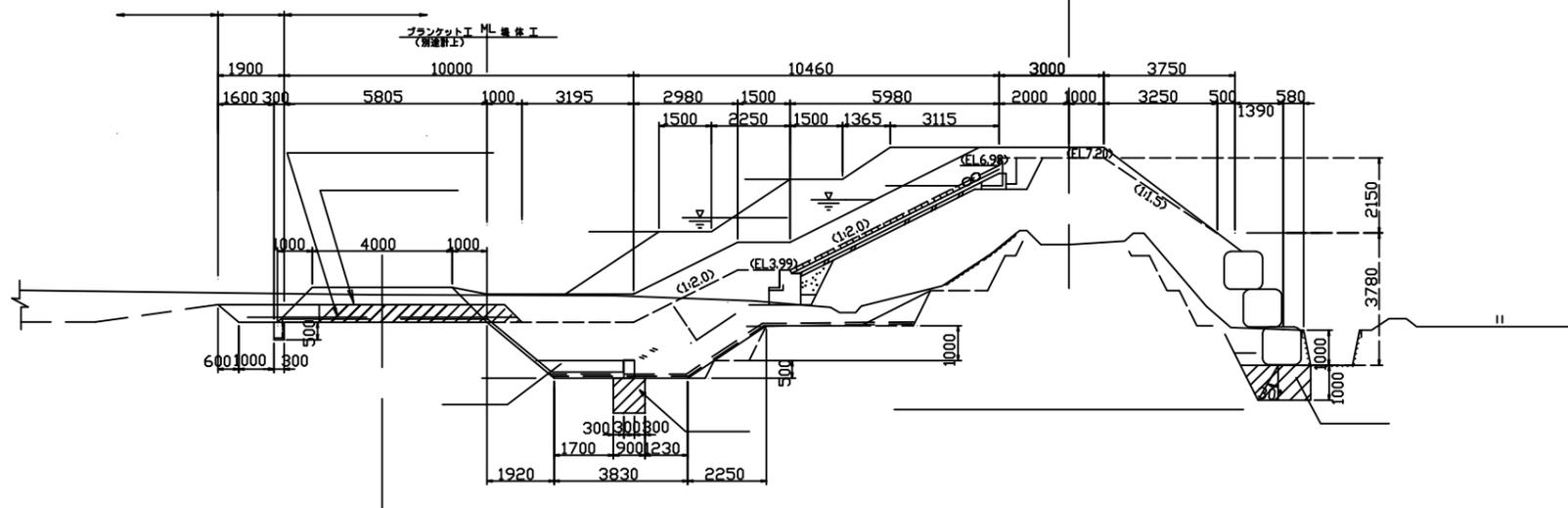
数量表

項目	単位	数量
ジオグリッド17kN/m品	m <sup>2</sup>	160.7
接続材	巻	2054
P.P製不織布t=3mm品	m <sup>2</sup>	163.8

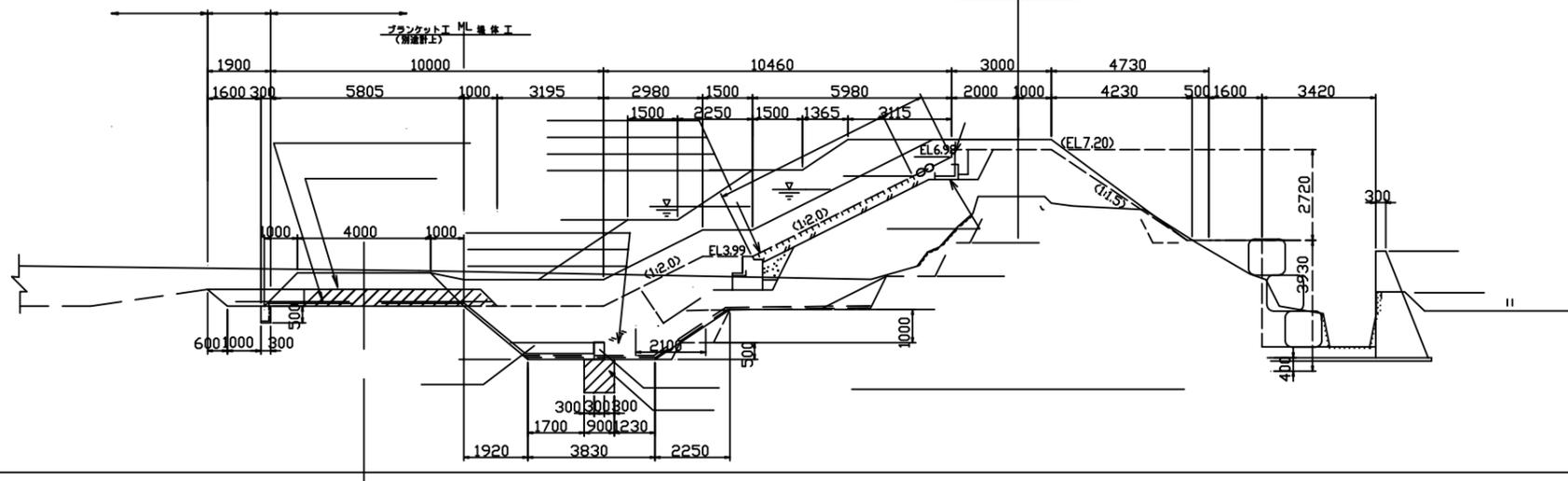
図面の名称		図面番号
ジオテクスタイル詳細図(5/6)		67
縮尺 1:100		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	



余盛工				
測点 No.1(+11.00)				
名称	単位	上流側数量	下流側数量	備考
盛土(余盛)沈下分	m <sup>2</sup>	13.2	0.6	
盛土?	m <sup>2</sup>	45.6	15.4	
盛切工	m <sup>2</sup>	0.8	-	
盛土(余盛)積土分	m <sup>2</sup>	11.8	0	



余盛工				
測点 No.2				
名称	単位	上流側数量	下流側数量	備考
盛土(余盛)沈下分	m <sup>2</sup>	13.2	0.9	
盛土?	m <sup>2</sup>	35.9	12.5	
盛切工	m <sup>2</sup>	1.8	0.5	
盛土(余盛)積土分	m <sup>2</sup>	11.8	0	

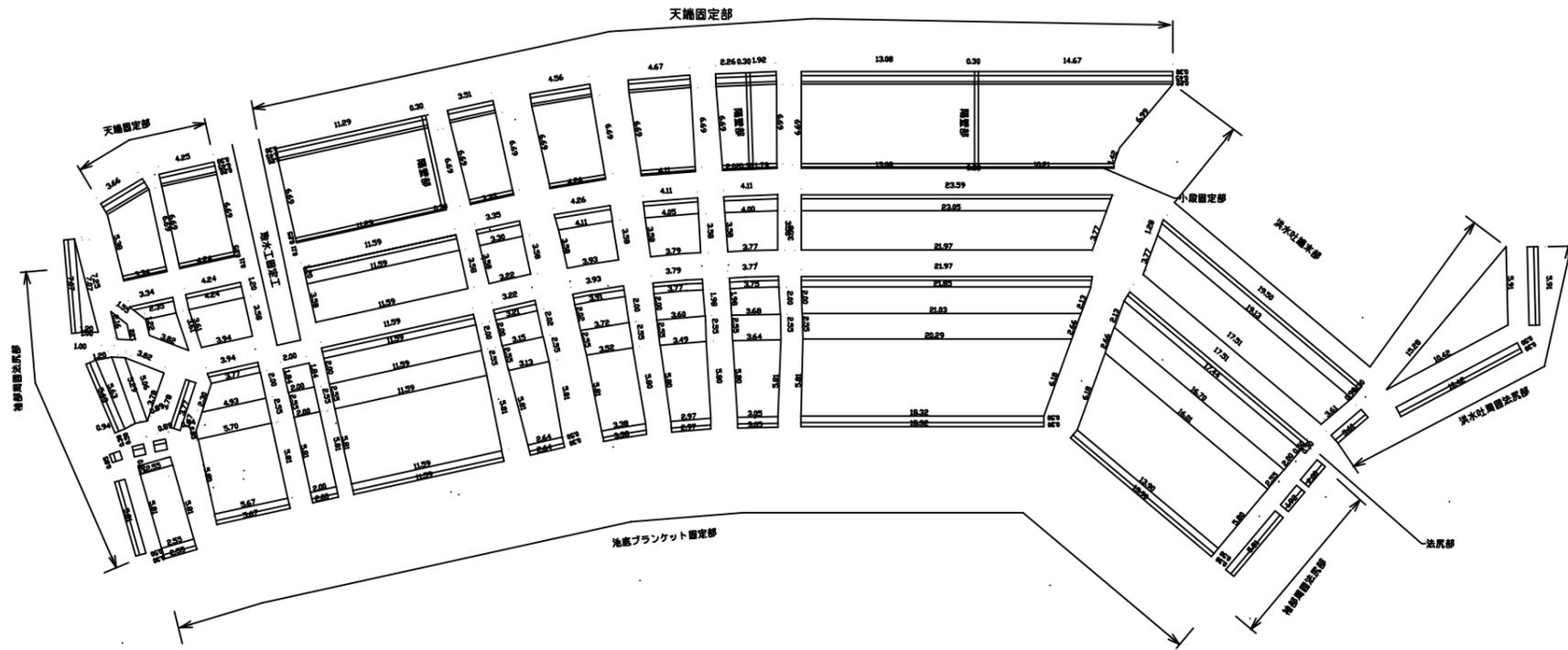


余盛工				
測点 No.3				
名称	単位	上流側数量	下流側数量	備考
盛土(余盛)沈下分	m <sup>2</sup>	13.2	1.0	
盛土?	m <sup>2</sup>	35.0	7.8	
盛切工	m <sup>2</sup>	1.7	0.3	
盛土(余盛)積土分	m <sup>2</sup>	11.8	0	

- 備考:
1. 沈下量は上流法面で80cm、天端で30cmを想定しているのので、堤体工着工前に余盛り、事前に圧密沈下(約126日で95%圧密)をさせておくものとする。
  2. 地盤改良は、セメント系固化材を用いる。現場の一軸圧縮強度(7日材令)  $q_u = 100 \text{ kN/m}^2$  以上となる量(配合量210  $\text{kg/m}^3$ ;有機質土用)とする。但し、底橋基礎は  $q_u = 125 \text{ kN/m}^2$  以上となる量とする。
  3. 仮設道路工の下層にあるジオテキスタイル(最小覆土厚50cm)の下にある不織布(水抜シート)をゴムシート上面に移設・直付してランダム材によるゴムシート損傷を防ぐ。

図面の名称	図面番号
余盛工断面図(大型土の)X2/2 S=1:100	81
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

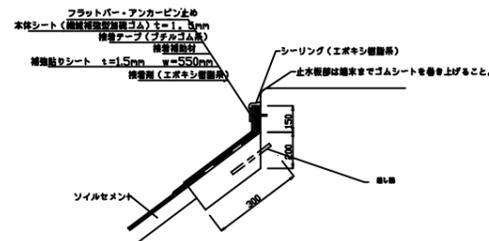
展開図



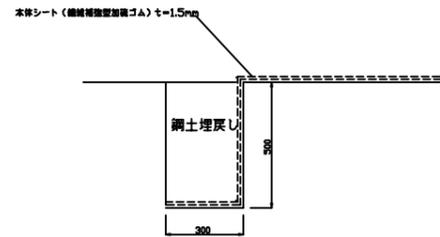
	延長(m)	フラットバー数 2.0m/本	アンカーピン数 @200(本)
池底ブラケット固定	(66.07)		
袖部周囲法尻部	(28.24)		
洪水吐周囲法尻部	19.94	10.00	10*11 110
隔壁部	20.07	11*2列 22.00	22*11 242
小段固定部	59.59	30*2列 60.00	60*11 660
法尻部	(75.33)		
洪水吐端部	(43.55)		
取水口固定部	27.26	14.00	14*11 154
天端固定部	(64.77)		
合計	126.86h	106本	1166本

各部詳細図

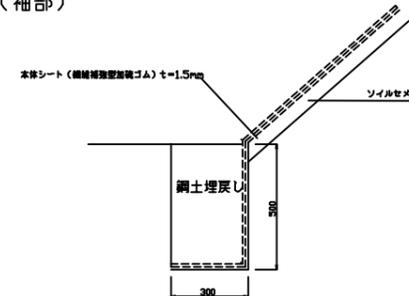
洪水吐端部シート納まり詳細図



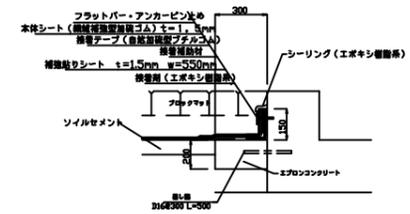
池底ブラケット固定部シート納まり詳細図



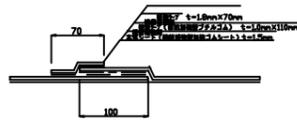
洪水吐周囲法尻部シート納まり詳細図 (袖部)



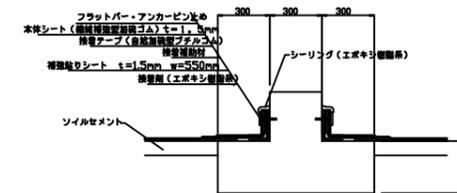
取水設備部シート収まり図



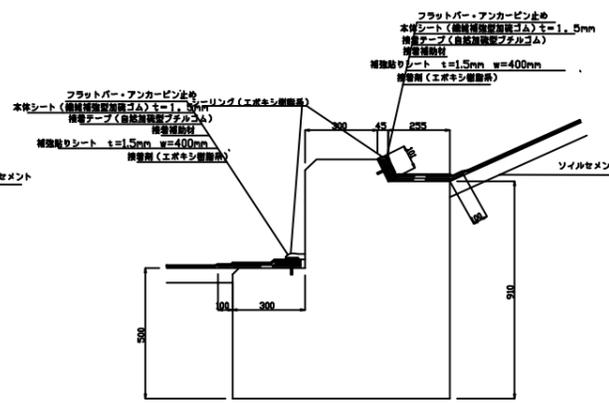
本体シート接合部詳細図



隔壁部納まり詳細図

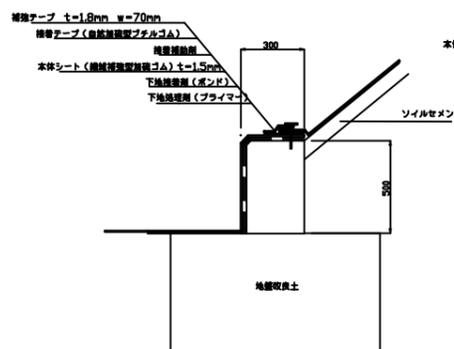


小段固定部シート納まり詳細図

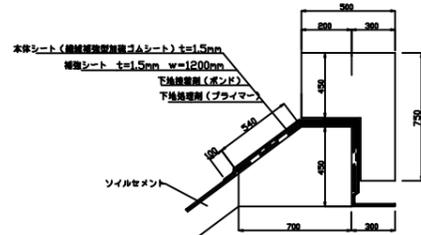


目地部あり注意して施工のこと。

法尻部シート納まり詳細図



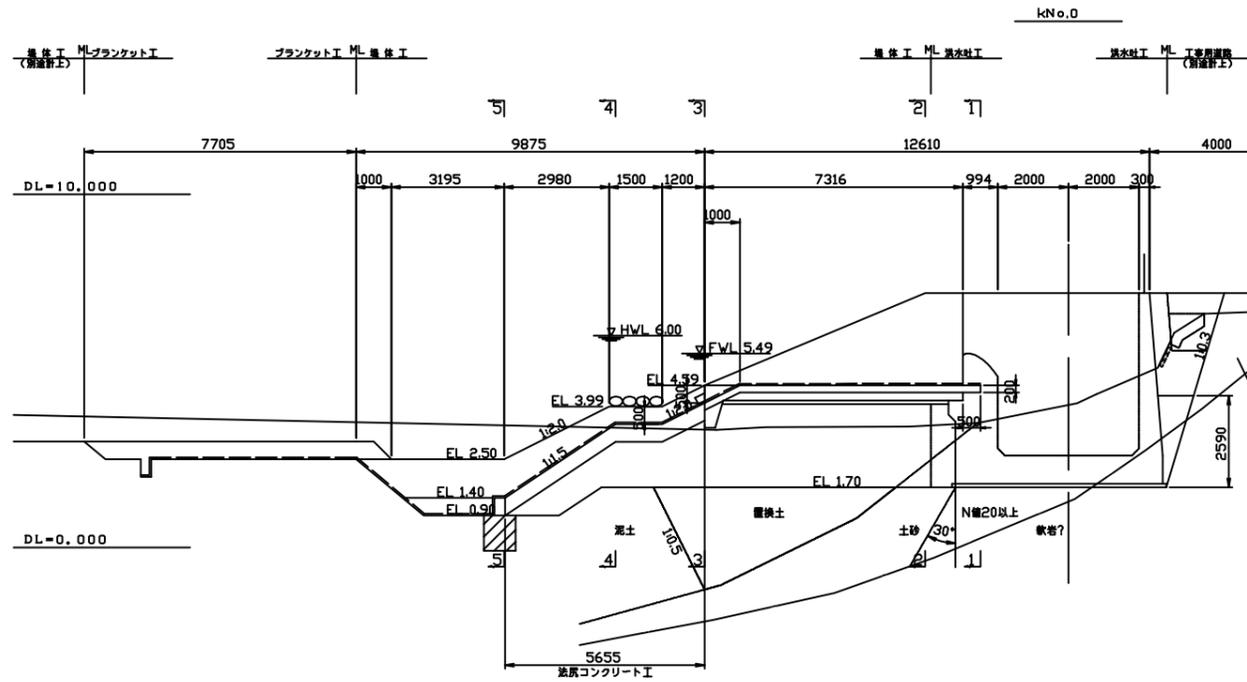
天端固定部詳細図



図面の名称	図面番号
ゴムシート工詳細図	15
測 量	平成 年 月 日 終了
設 計	
製 原 図	
図 複 写	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任

# 洪水吐工土工図(1/2) S=1:100

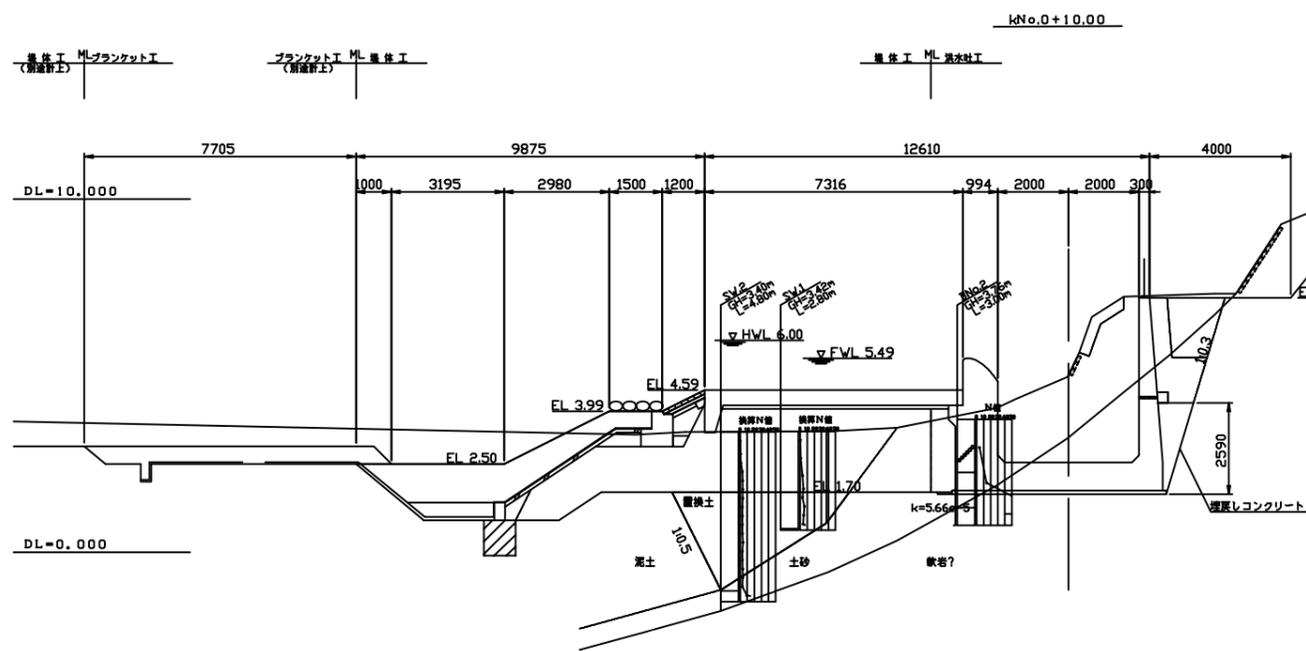
測点 kNo.0		名称	単位	数量	備考
切	土	切土掘削	m <sup>2</sup>	8.8	
		土床埋	m <sup>2</sup>	0.2	
工		名称	単位	数量	備考
埋	土	埋戻土(タンバ)	m <sup>2</sup>	0.5	0.8
		埋戻土(雑草)	m <sup>2</sup>	-	0.2
		埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	2.8	-
		埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	0.5	0.8
工	土	埋戻土(草)	m	0.7	-
		埋戻土(草)	m	-	-



名称	単位	数量	備考
埋戻土	m <sup>2</sup>	10.6	-

名称	単位	数量	備考
① 切土掘削	m <sup>2</sup>	0.3	
② 旧石掘削	m <sup>2</sup>	-	
③ コンクリート取壊し	m <sup>2</sup>	-	
④ 切土掘削	m <sup>2</sup>	0.6	
⑤ 埋戻土(土砂)	m <sup>2</sup>	16.1	
⑥ 埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	2.0	
⑦ 埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	-	
⑧ 埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	-	
⑨ 切土掘削(土砂)	m	0.7	
⑩ 切土掘削(草)	m	4.1	
⑪ 切土掘削(草)	m	-	
⑫ 人力機仕上げ(土砂)	m	2.4	
⑬ 埋戻土	m	4.0	
⑭ 埋戻土(タンバ)	m <sup>2</sup>	4.0	
⑮ 埋戻土(雑草)	m <sup>2</sup>	4.0	
⑯ 埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	1.3	
⑰ 埋戻土(草)	m	-	
⑱ 埋戻土(草)	m	-	
⑲ 石	m	-	

測点 kNo.0+10.00		名称	単位	数量	備考
切	土	切土掘削	m <sup>2</sup>	8.8	
		土床埋	m <sup>2</sup>	0.2	
工		名称	単位	数量	備考
埋	土	埋戻土(タンバ)	m <sup>2</sup>	0.5	0.8
		埋戻土(雑草)	m <sup>2</sup>	-	0.2
		埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	2.8	-
		埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	0.5	0.8
工	土	埋戻土(草)	m	0.7	-
		埋戻土(草)	m	-	-

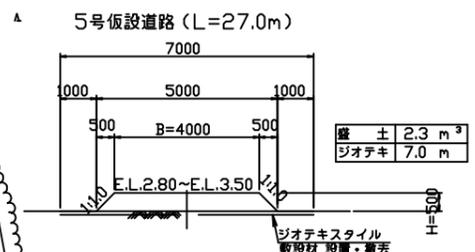
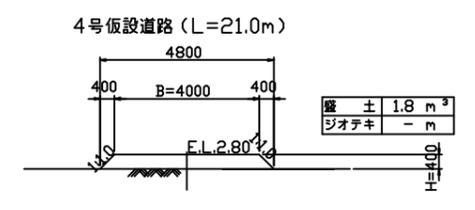
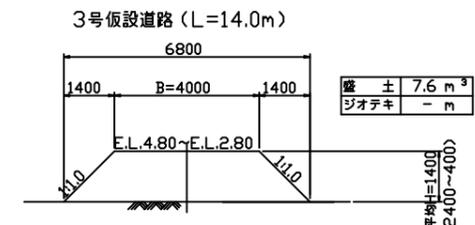
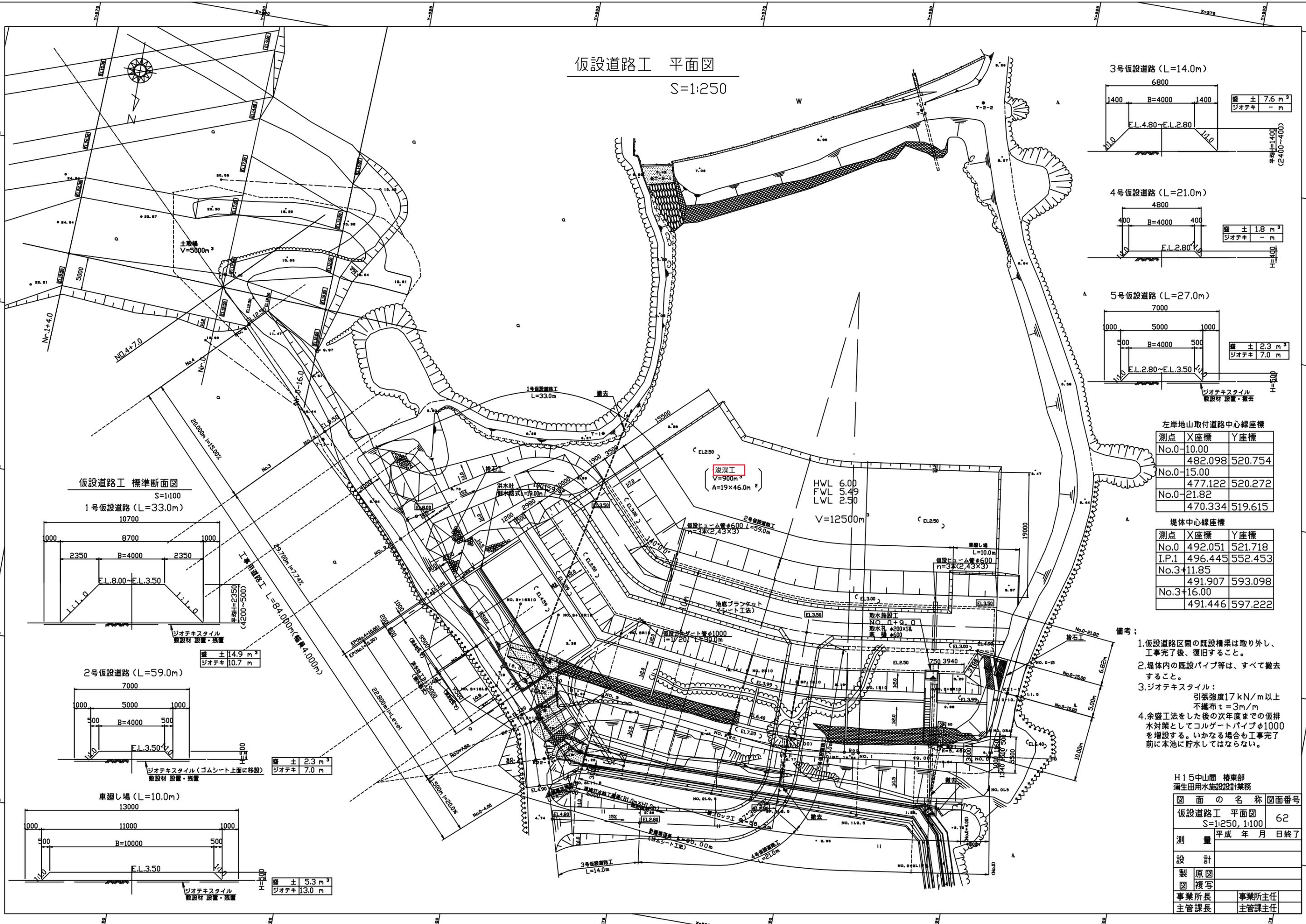


名称	単位	数量	備考
埋戻土	m <sup>2</sup>	10.0	-

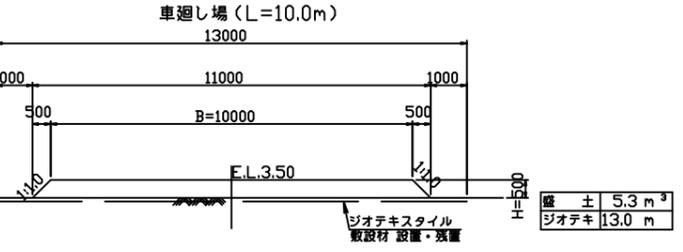
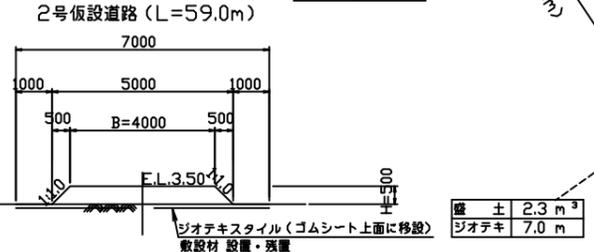
名称	単位	数量	備考
① 切土掘削	m <sup>2</sup>	0.6	
② 旧石掘削	m <sup>2</sup>	-	
③ コンクリート取壊し	m <sup>2</sup>	-	
④ 切土掘削	m <sup>2</sup>	-	
⑤ 埋戻土(土砂)	m <sup>2</sup>	15.8	
⑥ 埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	12.6	
⑦ 埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	-	
⑧ 埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	-	
⑨ 切土掘削(土砂)	m	8.0	
⑩ 切土掘削(草)	m	-	
⑪ 人力機仕上げ(土砂)	m	0.3	
⑫ 埋戻土	m	0.8	
⑬ 埋戻土(タンバ)	m <sup>2</sup>	4.0	
⑭ 埋戻土(雑草)	m <sup>2</sup>	-	
⑮ 埋戻土(草)	m <sup>2</sup>	2.2	
⑯ 埋戻土(草)	m	-	
⑰ 埋戻土(草)	m	-	
⑱ 石	m	-	

図面の名称	図面番号
洪水吐工土工図(埋戻土)(1/2)	82
縮尺	S=1:100
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図録	

仮設道路工 平面図  
S=1:250



仮設道路工 標準断面図  
S=1:100



左岸地山取付道路中心線座標

測点	X座標	Y座標
No.0-10.00	482.098	520.754
No.0-15.00	477.122	520.272
No.0-21.82	470.334	519.615

堤体中心線座標

測点	X座標	Y座標
No.0	492.051	521.718
I.P.1	496.445	552.453
No.3+11.85	491.907	593.098
No.3+16.00	491.446	597.222

- 備考:
1. 仮設道路区間の既設構渠は取り外し、工事完了後、復旧すること。
  2. 堤体内の既設パイプ等は、すべて撤去すること。
  3. ジオテキスタイル:  
引張強度17kN/m以上  
不織布 t=3m/m
  4. 余盛工法をした後の次年度までの仮排水対策としてコルゲートパイプφ1000を増設する。いかなる場合も工事完了前に本池に貯水してはならない。

H15中山間 橋東部  
蒲生田用水施設設計業務

図面の名称	図面番号
仮設道路工 平面図 S=1:250, 1:100	62
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	
事業所長	事業所主任
主管課長	主管課主任